

【概要版】北区環境基本計画改定方針 ～気候危機に立ち向かう 脱炭素社会の実現に向けて～

計画改定の背景

国際社会の動き

「パリ協定」

国際社会が一丸となって今世紀後半の「温室効果ガス排出実質ゼロ」を目指す

「持続可能な開発目標（SDGs）」

将来のあるべき姿に向かって、「環境・経済・社会の統合的課題解決」を図る

「低炭素化」から「脱炭素化」へ に向けた国内の動き

「2050カーボンニュートラル宣言」
(2020年10月臨時国会にて)

「ゼロエミッション東京戦略」
(2019年12月)

気候危機

近年顕著な集中豪雨や台風などによる自然災害の激甚化、猛暑や感染症による健康被害など「気候変動による影響」が深刻化

新型コロナウイルス

感染対策及び経済回復に向けた課題
「新しい生活様式」「デジタル化」の推進

計画期間

令和5（2023）年
～令和14（2032）年

長期的目標年次：2050年
令和9年度に中間の見直し

（仮称）北区環境基本計画2023

一体化

北区地球温暖化対策地域推進計画（改定）
北区気候変動適応計画（新規策定）

改定スケジュール

令和2年度

環境審議会へ諮問

令和3年度

区民等意識調査、骨子案作成等

令和4年度

パブコメの実施等、策定・公表

計画改定の基本的な考え方・ポイント

①「脱炭素」の考え方に基づく ロードマップの明示

Point

2030までを集中期間と位置づけ、CO₂排出削減量等の新たな目標設定
再エネ・蓄電池の導入・利用拡大
EV・EV充電設備等の普及
FCV・水素エネルギーの普及
建築物等のゼロエミッション化
プラスチックごみ問題・食品廃棄問題への対応と資源循環の取組み
他自治体や企業との広域的連携

②SDGsの考え方を取り入れた 総合性の高い計画づくり

Point

環境面から区政全体を支える
バックカスティング思考やステークホルダーの参画などSDGsの考え方を取り入れた計画づくり
地域循環共生圏の創造
区民、事業者、民間団体等との協働の推進体制の強化
環境学習の充実、人材育成の強化

③気候変動への適応と持続可能で レジリエントな都市づくり

Point

地域特性に基づいた気候変動適応計画の策定
建築物等のレジリエンス強化
グリーンインフラの推進
環境に配慮した暮らし・まちづくり
公害の防止、身近な生活環境問題への対応
協働による地域美化活動の推進

④コロナ禍からの グリーン・リカバリー

Point

環境負荷低減に向けた区民・事業者の活動支援
「新しい生活様式」を背景とした意識や社会システムの変化を考慮
デジタル化・脱炭素化イノベーションの推進
身近な緑・生物多様性の保全や創出